

第 229 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：令和 6 年 7 月 24 日（水） 14：30～15：07

場 所：浜田市役所本庁 4 階講堂 AB

出席者：岡田教育長 杉野本委員 岡山委員 倉本委員 浅津委員

事務局 草刈部長 藤井課長（欠席） 山口課長 鳥居室長 松井課長
山本課長

書記：日ノ原係長 皆田主任主事

議事

1 教育長報告

2 議題

(1) 令和 6 年度教育委員会学校訪問（幼稚園）について（資料 1）

3 部長・課長等報告事項

4 その他

(1) その他

1 教育長報告

岡田教育長

皆さん大変お疲れ様です。

今月、教育委員方には中学校の訪問にもお出かけいただき、学校の様子を少し感じていただけたのではないかと思います。

小中学校は夏休みに入り、先生方は少しほっとされていると思うが、この休みが、ぜひ子どもたちにとっても先生方にとっても、有意義な充電期間になることを願っている。

それでは資料に沿って、このひと月の主な活動報告をさせていただきますと思う。

① 7 月 8 日（月）島根県総合教育審議会（松江市）

7 月 8 日に島根県の総合教育審議会に出席してきた。来年度から 5 年間を計画期間とする、県の次の教育魅力化ビジョン、県にとって一番大きな教育振興計画になるが、その審議が今始まっており、そこで少し意見を述べさせてもらった。

私からは、今のビジョンに引き続きふるさと教育を大切にしたいということと、こども基本法の理念に沿って子どもを真ん中に置き、子どもの主体性を育むことも大切していただきたいということ、そして教職員の働き方改革が急務ではないか

ということを申し上げた。あとは、浜田市の取組として力を入れていくこととして、県の他の自治体に遅ればせながら、コミュニティ・スクール化を図るということをお話してきたところである。

県と市町村は、やはり教育について同じ方向性をもって教育行政を進めていくことが大事だと思っている。今年度中に県のビジョンが作成されたら、それを参考にして来年度は浜田市の次の教育振興計画を策定するタイミングであるため、ぜひ参考にさせてもらい、取組を進めていきたいと思っている。

② 7月11日（木）ことばを育てる親の会浜田支部要望（教育委員室）

7月18日（木）ことばを育てる親の会三隅支部要望（教育委員室）

7月11日と18日に、ことばを育てる親の会からの要望を受けた。浜田支部と三隅支部からそれぞれ要望があったが、その中で共通していたのは、やはり通級指導教室の担当教員を増加して欲しいということであった。そして、備品や教育環境をさらに整備して充実して欲しいということと、会の活動への協力の要請であった。

通級指導教室を今必要としている児童生徒が全体の4%ということが浜田市の実態だが、教員が子どもたち一人一人のことをしっかり見ていくと、この数値ももしかしたらもう少し増えていくのではないかという感触もある。教員配置については県にこれまでも要望してきているが、継続して要望していきたいと思っているし、県の方でもそのことを受けとめていただき、昨年と今年については、専門の担当、先生を増員していただいたという経緯はある。できることから対応していきたいと考えている。

③ 7月23日（火）幼小連携・接続研修会（浜田まちづくりセンター）

7月23日に、幼小連携・接続の管理者研修会があった。この研修会を浜田市では3年前から取り組んでおり、この日は市内の公立も私立もすべての幼児教育施設の管理者の方、そして小学校の管理者の方に出席をしていただき、情報交換を行った。島根県からも、事例発表やご指導いただくということで多くの協力をいただいている。

この 23 日は管理職の研修会だったが、26 日には今度は職員
の研修会も同様に計画をしており、私は管理者の皆さんに、担
任任せにせず、この保幼連携も幼小連携も、あるいは幼小接続
もぜひ牽引役になってもらいたいとお願いさせていただいた。

④ 7 月 23 日（火）市 PTA 連合会との意見交換会（市役所講堂）

浜田市の PTA 連合会との意見交換会があり、そこで教育委員
会の取組の紹介の後で、コミュニティ・スクールに関しての意
見交換の時間も設けさせていただいた。学校運営協議会に PTA
がどう関わってくるのかという様なことだったため、ぜひ参加
をしていただきたいというお話し、保護者の皆さんにコミュ
ニティ・スクールとは一体何なのかという理解もぜひ進むよう
に、市もやっていくが、協力をお願いしたいということをお話
した。

ただ、一方で PTA も今現在、組織のあり方についていろいろ
模索をされているところがあり、これまで全員が参加をした、
それぞれの学校の PTA のあり様というの、今後ちょっと変わ
っていくのではないかというような感じも持ったところであ
る。

以上が、このひと月の私の活動報告になる。

何かご質問等あれば、お受けしたいと思うがいかがか。

特になし。

各委員

2 議題

(1) 令和 6 年度教育委員会学校訪問（幼稚園）について（資料 1）

日ノ原係長

資料 1 をご覧いただきたい。幼稚園の学校訪問については、先
般、委員方と日程調整をさせていただき、令和 6 年 10 月 22 日（火）
の午前中に行いたいと思っている。

訪問園は、浜田幼稚園で、訪問者については、小中学校同様の 7
名である。

続いて 5 番の訪問内容のところだが、小中学校と同様に、先に
園内の視察を 20 分程度行った後、ヒアリングを 30 分程度計画し
たいと思っている。

本日のところでは、意見交換テーマについてご審議いただけれ
ばと思う。参考として、下の方に過去の意見交換テーマを載せて
いる。令和 5 年度が 3 点について、令和 4 年度については 1 点に
ついて行ったが、今年度の意見交換テーマについてご審議のほど、

岡田教育長	よろしく願います。 幼稚園訪問の日程については委員方に大体伺えていると思うが、そこでやる意見交換のテーマについて、何かご意見があればお受けしたいと思うが、いかがか。
倉本委員	昨年、何かの機会にある先生とお話した時に、通級や幼児教育センターとしての機能が、なかなか市内の施設等の先生方とうまくコミュニケーションが取れないとか、機能が多く、果たせないというところがあったと記憶しているが、その後の経過についてどうなっているかというのはやはり知りたいと思う。
岡田教育長 杉野本委員	他の委員方、いかがか。 統合して1年半が過ぎ、丸々1年が済んだということで、統合ということではなくして、幼稚園教育の課題、あるいは経営上運営上の課題というようなかたちでも良いが、その中で色々な新たな課題が見えてくるものがあるのではないかと思うため、そのこの辺りを聞いてみたいという気がする。
岡田教育長	ありがとうございます。他に何かあるか。 今、1つは幼稚園としての経営上の課題についてお話を聞きたいということ、もう1つが通級指導教室と幼児教育センターの今の取組状況なり、それから各園との関わりの現状について聞いてはどうかという様なご意見だったが、概ねその様な内容で進めさせていただいてよろしいか。
各委員	全会一致で承認
岡田教育長	実際、園の連絡会が月に1回あり、私もそこに出かけて行くが、園長先生からはもちろん、通級指導教室や幼児教育センターにそれぞれ職員がおられるため、そこからの状況報告も受けたりしている。もう少し教育委員方と一緒にその内容も共有して、意見交換の中で深めていくことができたらと思うので、テーマについてはその2点ということをお願いしたいと思う。
日ノ原係長	ありがとうございます。
岡田教育長	幼稚園訪問は、幼児教育担当課長か係長の同席はあるか。
日ノ原係長	入っていない。
岡田教育長	では、幼児教育担当課長も同席するという事でよろしいか。
各委員	全会一致で承認

3 部長・課長等報告事項

草刈部長 | 令和6年9月定例会議日程(案)(資料2)

資料2をご覧いただきたい。令和6年9月定例会議日程(案)である。会期については、8月30日から9月30日の32日間行われる。

この日程については、6月議会の最終日の議会運営委員会で示された現時点での予定となっているが、ほぼ変わらないと思う。正式には8月26日の議会運営委員会で決定される。

教育委員会関係のところだけピックアップすると、8月5日に総務文教委員会が行われる。それを受けての19日の全員協議会、一般質問の通告締切が8月22日となるため、ここから答弁者の振り分け、答弁書の作成がスタートする。30日が開会日でこの日に全員協議会があり、10日に行われる総務文教委員会の所管事務調査が決定される。

9月2日から5日まで一般質問があり、6月議会から時間が20分から30分に伸びている。1日休会が入り、9日に議案質疑、予算決算委員会の閲覧資料要求などがあり、10日のところで先ほど申し上げた総務文教委員会、13日に9月補正予算関係の予算決算委員会の審査が行われる。19日に予算決算委員会があり、令和5年度の決算審査に係るということで、9月議会はこれがあるため会期が長くなる。27日に、附帯意見協議が行われ、30日の採決だが、令和5年度の決算審査の意見報告があり、27日の附帯意見協議に反映される。最終日に全員協議会が行われる。この様な流れが、9月議会の日程となっている。

以上である。

先ほどの9月議会の日程について、何か質問等あるか。

特になし。

岡田教育長
各委員

藤井課長

(代理：日ノ原係長)

行事等予定表(資料3)

資料3をご覧いただきたい。教育委員方に、ご案内しているものと教育委員の欄に丸をつけたものを説明させていただく。

4点あり、1点目が7月26日(金)の第1回浜田市コミュニティ・スクール研修会、続いて8月2日(金)の令和6年度ふれあいフォーラム、続いて8月22日(木)の第230回教育委員会定例会、続いて8月30日(金)の第19回浜田市中学校弁論大会、こちらをご案内させていただいている。出席可能であれば、ご出席をよろしく願います。

また、この他にイベント等も掲載しているため、よろしく

	<p>願います。</p> <p>説明は、以上である。</p>
<p>岡田教育長</p>	<p>今、教育委員方に、できれば出席していただきたい行事について案内したが、内容等で、特に問い合わせがあるか。</p>
<p>各委員</p>	<p>特になし。</p>
<p>岡田教育長</p>	<p>8月30日の中学校の弁論大会は、今年は石中央文化ホールに、その担当校の生徒だけが聞くのではなく、各校少なくとも1学年は来てもらうということで、市内全体で弁士の話の話を聞こうということになっている。</p> <p>すごく楽しみにしていたが、8月30日は議会があるため、挨拶だけして帰ろうかと思っている。</p> <p>この件は、よろしいか。</p>
<p>各委員</p>	<p>特になし。</p>
<p>山口課長</p>	<p>令和6年度第2回浜田市コミュニティ・スクール研修会兼「ふるさと教育」に関する研修会実施要領（学校用）（資料4）</p> <p>資料4をご覧いただきたい。先ほど説明があつたが、7月26日、教育委員方には、コミュニティ・スクールの研修会の参加をよろしく願います。</p> <p>第2弾として、学校のふるさと教育担当とまちづくりセンターの学校に係る方々の研修会にも、コミュニティ・スクールの議題を取り上げるため、ご承知くださいという資料である。</p> <p>以上である。</p>
<p>岡田教育長</p>	<p>この研修会の件について、何かご質問はあるか。</p>
<p>各委員</p>	<p>特になし。</p>
<p>鳥居室長</p>	<p>第4回（7月）市校長会資料（資料5）</p> <p>資料5をご覧いただきたい。7月の校長会や教頭会で説明をしたものである。今回は、算数・数学アドバイザーの前田教授に、6月11日に研修をしていただいたため、この内容について改めて周知をした。2行目に少し書いてあるが、各校1名以上ということで募集をしていたが、参加者は54名で、関心が高かった。大変ありがたいなと思った。管理職の先生方に感謝したいとお礼を申し上げた。第三中学校には、多い人数の対応で、電子黒板を2台にしたり、そういった対応もしていただき、非常に受けやすい研修だったと思う。</p>

中段の四角囲いで示しているが、昨年度までのところで、前田先生の指導を受けながら、その成果が少しずつ数値として、正答率として出てきていると示した。中学校2年生には課題があるが、それ以外の学年は伸びてきており、一定の成果があると思うということを伝えた。以下、前田教授の講義内容をピンポイントで示しているが、これまでも前田教授のことについてはお伝えをしてきているため、ごくごく簡単に申し上げる。

2 ページ目の四角囲いの中の (5) 参加者の事後アンケートから抽出したものだが、一番上の丸、たくさんやらせるという意味を誤解していたという様な一文があった。我々もこれを危惧していた。要するに、授業の終末や家庭学習のところで、適用題として問題をたくさんやらせればよいという誤解がなければよいと思っていた。やはり正直な声としてこれが出たため、改めて校長先生や教頭先生に確認をしたということが主な目的である。

1 ページに戻っていただき、授業づくりにおける今日的課題というところで、3 番目の丸の中の留意点、ここでたくさんやるということについてももう一度確認があった。いわゆるドリル学習ではありませんということ。したがって、たくさんやる場面を学習過程の中にどの様に位置付けるかがポイントである。すべての領域、内容を対象とする。最後にもう一度最終確認で、練習問題は終末場面だけではない、ということで、いろいろな事例を紹介しながら説明された。

2 ページの (4) のところに戻っていただき、「たくさんやる」ために、何かを「削る」ことが一番難しい。教科書どおりにやっていたら、たくさんやるは実現しないということである。先生方には、勇気をもって「削る決断」をして欲しい。前田教授が提案しているのは、研究授業のためだけではなく、普段の授業を変えるためなので、早速実践に移して欲しいという様な印象に残る言葉を残していただいた。何かを削るということは、単元をとおして、学習のどこに重点を置くのかということを考えていくことであり、そこに繋がるということで、授業改善の方向性と合致していると考えた。

2 ページの一番下にパワーポイントのスライドの1つを出したが、ある学校の研究授業の研究協議の時に私の時間があるが、そのところで少し演習を試してみた。「たくさんやる」プラ

ンを出し合ってみましょうということで、今日の授業だったらたくさんやるということはどう考えたら、どこで実現できるのかということ演習し、やったものをそのまま載せた。こういったことを、授業構想を立てる段階で、そこに参加している人たちがぜひやってみてくださいということを示したところである。

以上である。

岡田教育長
杉野本委員

ただ今の件について、ご質問はあるか。

参加者が54名ということで、大変たくさんの方が集まれ、よかったと思う。内容を聞く限りでは、授業は中学校だったのか。

鳥居室長

授業はなしで、これまで実践された授業を前田教授が聞き取りながら、解説をされながら講義をされた。

杉野本委員

承知した。

小中のバランスは、大体同じだったのか。

鳥居室長

そうである。

杉野本委員

いろいろな学校から出られたということで、もっと広がっていくといいと思った。

岡田教育長
各委員

他は、よろしいか。

特になし。

松井課長

サン・ビレッジ浜田アイススケート場の活用に関する方針決定について（資料6）

資料6をご覧いただきたい。サン・ビレッジ浜田アイススケート場の活用に関する方針決定について報告させていただく。このサン・ビレッジのアイススケート場のあり方については、昨年度の業務委託で調査業務を実施している。三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社ということで、委託期間令和5年の7月30日から11月30日にその作業を実施した。

基本的な考え方だが、アイススケート場はどのような施設形態が最適であるか検討するために、近年の利用運営状況やスポーツニーズ変化等を踏まえて、より効果的・合理的な活用方法について調査を行ったものである。浜田市は、人口減少対策を重点課題の1つと位置付け、若者が暮らしたいまちづくりを中心とした施設を展開しているところである。したがって、アイススケート場の効果的・合理的な活用方法は、この点に留意しな

がら、若者や子育て世代をはじめとするより多くの市民に利用される施設となる様に検討を行った。

その考察のまとめとしては、「屋内人工芝施設として機能転用を図ることが望ましい。ただし、屋内人工芝施設と体育館施設の評価はほぼ同評価である。また事業化においては、民間活力がより発揮しやすい機能を選定することが肝要である。」というような報告のまとめになったところである。この報告を参考にしてこちらでも検討し、2番のところだが、浜田市の方針について決定をさせていただいた。サン・ビレッジ浜田アイススケート場は、屋内人工芝施設または体育館施設として機能を転用する。3番に、市議会等関係機関との協議、今までの経過を書いているが、昨年12月に、教育委員会にて各教育委員方にはこの報告書をお配りし、方針案について説明させていただいた。

1月24日、市議会の総務文教委員会を皮切りに、議会やスポーツ推進審議会にもご報告させていただいた。色々ご質問等もあり、3月5日には浜田市の総務文教委員会に請願・陳情が提出された。主な内容としては、市の考えを分かりやすく説明していただきたいというものであったため、4月24日には議会の委員会の委員を対象として現地確認を行い、6月25日の総務文教委員会では、あり方について詳しく説明させていただいた。

7月2日には、全員協議会でも同様にあり方について詳しく説明させていただいた。こういったことを踏まえ、議会でも概ね市の方針について了承いただいたという様なプロセスを踏んで、この度の方針決定に至ったという流れである。

4番に今後の対応が書いてあるが、調査報告書の考察のまとめでは、機能転用を図ることが望ましいというように整理をしているが、機能転用にあたっては、さらに詳細な評価・分析を行って、具体的にどの様なスポーツ、競技を行うのか、さらに子どもや子育て世代の方が、どの様な施設であれば使いやすいかという様な点をさらに精査して、人工芝がいいのか、板張りがいいのかという様な仕様を決定する必要があるかと思う。よって、今後は、施設の整備に関する詳細な基本計画の方を策定していくと考えている。

以上、報告である。

岡田教育長

このサン・ビレッジのあり方については、コンサルティング

会社の報告書について教育委員会でも説明させていただいたため、中身はよく承知しておられると思う。これを昨年 12 月以降、議会に説明した時に色々質問が出て、さらに、民間の方からも陳情が寄せられたということで、6 月の議会でもう一度改めて丁寧に説明して、概ね了解をいただいた。

ただ、何に本当に使うのかということや、詳細な事業費の積み上げは、その状況によっては改めてどうするか検討しようということで、そのあたりを少し丁寧にやっていきたいと思う。議会からは、建物自体も大分老朽化しているため、それも直してということになった時に本当にそれでもやるのか、解体をするという様な選択肢も残して、検討をお願いしたいという様な意見をいただいたため、少し補足をさせていただいた。

この内容について、ご質問等あるか。

各委員

特になし。

山本課長

第 2 回石見神楽伝承内容検討専門委員会の会議結果について(資料 7)

資料 7 をご覧いただきたい。第 2 回石見神楽伝承内容検討専門委員会の会議結果について報告する。石見神楽の保存・伝承について、今年度専門検討委員会を立ち上げ、全 6 回委員会を開催して、保存・伝承について提言書を提出していただく予定としている。この会議の第 2 回目が、6 月 27 日に浜田市立中央図書館にて行われたので、その結果について報告させていただく。

第 2 回の専門検討委員会については、議題を石見神楽の保存・伝承すべき内容について、何を保存・伝承すべきかについて、委員 14 名、また、当日は 2 つのグループに分かれてグループワークで話をさせていただいた。いろいろなご意見があったが、出た意見を大きな区分 3 つに分けてここに掲載をしている。

まず区分、「神楽産業・ものづくり」に関しては、神楽の道具(面、衣装、蛇胴等)そういったものは、やはり今後に伝承していく、残していくべきだという意見があった。また、神楽産業(ものづくり技術)は、神楽面や、蛇胴の製作技術、衣装、そういったものを保存・伝承すべき対象であるという意見があった。

また、舞について、神社でされている奉納神楽文化は、保存・

伝承していくべき内容である。神楽は 30 数個演目があるが、そういったものの中でも塩祓であったり神迎であったりの儀式舞は、全神楽の基本動作に通じるものがあるため、それもきちんと後世に残していくべきであるという意見があった。また、社中そのものや演目は、ぜひ残していくべきである。

今、なかなか神社の奉納で、昔は夜明かし舞ということで、明け方まで舞を舞っていたが、現在そういった機会が少なくなっている。そういったところから、社中でもそういった舞を舞う演目の数が少なくなってきたという状況がある。特に儀式舞は、舞う機会が少なくなっている。そういったこともあり、やはりきちんと後世に残していくべきであるということである。また、社中の流派と書いてあるが、これは各社中でやはり、いわゆる手が違ったり、型が違ったり、そういったことがあるため、そういった各社中それぞれの違いだったり、そういったものも後世に残していくべきだという意見があった。最後、舞い手の心意気と書いてあるが、気持ちの部分で、古いものを大切にしつつ、新しいものを取り入れてきたという傾向もある。こういった周りの声に応えるという舞い手の心意気も保存・伝承していくべきことであるという意見もあった。

最後の区分の歴史・伝統のところだが、歴史のところ、具体的には、神楽そのものの変遷であったり、また、石見神楽は県外や海外の方でも公演が行われている。そういった外に出て舞った歴史、または神楽の特徴等の歴史の部分もきちんと伝承していくべきであるという意見があった。それから、石見神楽の台本だが、今ある校訂石見神楽台本がどういった変遷を経て今の台本になったかということも踏まえながら、きちんと神楽の台本も後世に残していくべきこととあった。最後に、神楽関係者の想いは、上の舞い手の心意気とも通ずるものもあるが、やはり神楽は神様に捧げるものであり、礼儀や立居振る舞い、そういったものを後世に伝えていくべきであるという意見があった。

以上が意見交換会で石見神楽の何を保存・伝承していくべきかというところで皆さまから出た意見である。これをもって、7月30日にまた浜田市立中央図書館で第3回の専門検討委員会を予定しているが、第3回ではそれを踏まえて、ではどの様にそれに取り組んでいくべきか、どの様に保存・伝承していくか、

岡田教育長	<p>今度は取組の部分とそれをだれが担うべきなのか、誰が中心となって行ってきたのかというところを、また皆様に検討をしていただく予定となっている。</p> <p>以上である。</p> <p>ただいまの説明に対し、ご質問があれば受けたいと思う。いかがか。</p> <p>第2回は何を残すかということで、第3回目以降はどのような方法で残すかということを中心に深掘りしていくことになると思う。その状況が分かれば報告をしたいと思う。</p> <p>ご質問が特にない様であれば、報告事項を終わらせていただく。</p>
各委員	<p>特になし。</p>

4 その他

(1) その他

岡田教育長	事務局からその他何かあるか。
日ノ原係長	特になし。
岡田教育長	その他のところで、委員方からご報告や質問があればお願いする。
各委員	特になし。

次回定例会日程

定例会 8月22日(木) 14時30分から 浜田市役所本庁4階講堂 AB

次々回定例会日程

定例会 9月26日(木) 14時30分から 浜田市役所本庁4階講堂 AB

15:07 終了